
Museu do Vidro da Marinha Grande

について

マリーニャ・グランデ・ガラス博物館 (Museu do Vidro da Marinha Grande)

この博物館は、かつてウィリアム・スティーブンズが住まいとしていた館を利用しています。新古典主義を取り入れた18世紀の優雅な建物で、英国風の素晴らしい庭園があります。館の入口には18世紀につくられた鉄の門があり、かつて作業員を工場へ召集するために使われた鐘が今も残っています。

この博物館の所蔵品には、工場創設当時につくられた芸術的なガラス窓や、グラス、水差し、花瓶などの洗練されたクリスタルガラス製品に加え、17～20世紀にポルトガル国内の主な工場で作られたさまざまな製品があります。ガラスづくりに適した環境にあるこの博物館には、復元した工場のスペースや、小規模な家内工業としてのガラス工房も設けられており、ガラスづくりに関するさまざまなものが展示されています。

その他の部屋では、絵画、家具、記録文書、書物など、ポルトガルにおけるガラスの歴史に関する品々も展示されています。

問い合わせ先

Palácio Stephens Pç. Guilherme Stephens 2430-960 Marinha Grande

電話： +351 244 573 377

ファックス： +351 244 561 710

Eメール： museu.vidro@cm-mgrande.pt

ウェブサイト： <http://www.cm-mgrande.pt>

特色とサービス

ショップ
ガイドツアー

その他の情報

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。